

第16回 介護・医療連携推進会議報告

平成28年1月25日 16時00分～

ケア・オフィス 優 (介護看護課)

<出席者>

上部入船町内会 会長	佐々木 茂 様
小樽市医療保険部 介護事業所担当主幹	生瀬 裕司 様
小樽市介護保険課 主査	橋本 真紀子 様
南部地域包括支援センター	渡辺 紳一 様
中部地域包括支援センター	内藤 尚代 様
北西部地域包括支援センター	斉藤 彰子 様
ケア・オフィス 優 管理者	二丹田 早稲子
ケア・オフィス 優 介護福祉士	屋代 利恵子
ケア・オフィス 優 事務職員	齋藤 智世

1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 集計報告

① 10月、11月、12月の集計

② 疾患の別

- ・脳梗塞後遺症
- ・変形性膝関節症
- ・脊髄小脳変性症
- ・視神経脊髄炎
- ・廃用症候群
- ・糖尿病
- ・アルツハイマー型認知症
- ・パーキンソン病
- ・末期癌

③ エリア

幸～桜町

④ 終了者事由

- ・12月より、障がいサービスへ変更

2. 定期巡回サービス内容報告

- ① 排泄介助、おむつ交換、ポータブルトイレ処理
- ② 体位交換
- ③ 軽微な傷の処置
- ④ 配膳、下膳、食事介助
- ⑤ 内服介助、確認（薬剤師との連携、事業所預かり訪問時に持参など）
- ⑥ 起床、就寝介助
- ⑦ 買い物、調理、洗濯、掃除
- ⑧ 洗顔、清拭、洗髪、足浴、手浴、口腔ケア
- ⑨ 更衣介助
- ⑩ デイサービス送り出し
- ⑪ 通院介助（自費）
- ⑫ 調理（流動食）

3. 随時対応サービス内容報告

- ① トイレ介助や失禁介助（随時対応）依頼
- ② 嘔吐による更衣、シーツ交換依頼
- ③ 体調不良など看護師の訪問要請（緊急対応）
- ④ 便の状況により、下剤量の相談
- ⑤ 内服についての相談
- ⑥ 不安時の電話相談

4. 随時訪問サービス内容報告

- ① トイレ誘導、失便対応、保清
- ② 環境整備

5. 訪問看護緊急対応内容報告

- ① 体調不良（発熱など）
- ② 便秘対応（浣腸、摘便）
- ③ 点滴コントローラーの警報対処
- ④ 医師の指示にて薬剤投与（疼痛コントロール）
- ⑤ イレウス症状にて受診対応

6. 現状報告

- ・パート職員（看護師）2月に退職予定。通常訪問看護サービスの受け入れ規制。求人活動を行うが、人員確保が困難な状況。
→ 現在、訪問看護も新規依頼を断っている状況

7. 広報活動など

- ・なし

8. 問い合わせ状況

- ・ケアマネジャーより。要介護5（褥瘡）独居。
毎日の看護師による処置、体位交換と専門職によるリハビリ、1日3回のヘルパー希望。
→ 褥瘡重症度や処置頻度を考え、現時点では入院レベルと見受けられたため、担当ケアマネジャーに検討していただくこととした。
- ・MSWより。要介護3（誤嚥性肺炎）3食の食事介助→ファーラー30°での介助
サ高住入居中。歩行自立。
→ 食事のみ全介助で他は自立とのことから、食事の摂取方法の工夫で自立できる可能性を検討していただくことで、現時点では保留となっている。

その他、以前ご夫婦で定期巡回サービスを利用したことがあり軽快によりサービス移行された方が、腰痛や高齢により困難なことが増えていることから、定期巡回サービス利用開始となっている。

9. 11月19日 実地指導

- ケアプランの確認や指示書の記載年月日については、都度、依頼や確認を行い、不備の内容に徹底する。
(依頼をした経緯など詳細についての記録を残す。)
- インシデントについては、些細なことでも記載をする。

10. 役員の皆様から助言など

「ふれあいゴミ収集」を利用されている利用者が非常に増えてきている印象がある。

要介護4以上の方などに市から助成で30ℓゴミ袋が配布されているが、いっぱいになるまでゴミを入れると高齢者には重く持つことが困難で、また、冬期の足場が不安定な中では危険も考えられ、結果、ふれあいゴミ収集を利用するケースも多く見受けられる。

助成されるゴミ袋を容量の少ないものにするか、大きさを選択できるなど何か方法はないか。

→ ヘルパーがゴミ出しをするにも、時間帯が合わなかったり、マンションなどではゴミステーションの開閉時間が決まっているため、なかなか時間を合わせて出すことが難しい。

また高齢者でも持つことのできる大きさ、重さであれば、自分でゴミを出すことができるという方もいることを考えると、市へゴミ袋助成を容量の少ないものにするなど、何か検討していただけるよう要望を出す必要があると考えられる。

11. その他

- おむつ交換で随時が複数回あった方、リハビリにて機能改善。リハビリパンツ試み、現在は自立。
→ コールもなくなり、配下膳等の定期訪問で経過中。ご家族の仕事の都合で独居となる日があるため、安心のためにもサービス利用は継続中。

- 以前、討議したご家族（娘様）再訪問中

- 1月早々に2名看取り。

〈事例紹介〉

*要介護5（独居）老衰・・・一体型利用

*要介護2（2世帯）末期癌・・・看護師は医療保険適用

2例ともご本人または家族が自宅での最期を選択され、ヘルパー・看護師とも訪問時、安否確認や状態変化等非常に注意を払い、自宅での看取りにまで深く関わることできた感慨深い事例であった。

その他、積雪により訪問時の駐車スペースの確保が困難な時季となったが、できるだけ利用者様に遅延等で迷惑をかけないように努力しているところである。

また、認知症によりSOSネットワークを必要とされる事例が今後多くなることが予想され、小樽市で広く有効な体制づくりや活動を望むところである。